

<討論>

2023年度一般会計補正予算(第5号)について討論します。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、物価高騰対策の事業継続には一定の評価をします。

一方で、物価高騰対策について、市民全体への目配り、対応が必要である。交付金があるからその範囲内で実施すればいいということではなく、市民生活をどのように守り、取りこぼさない政策が実施できるか、今後の市の姿勢が問われている。

障がい者施設整備の助成事業は、滝山病院の例を出すまでもなく、精神障害者の地域移行を促進し、地域での暮らしを支えることは重要である。国の補助枠がもっと増やすことを求めるよう要望していくことが必要と考える。今回の市の一般財源での支援は評価します。

朝の校庭開放は、保護者の要望が多かったことで、一歩前進と受け止める。しかし、単なる見守りだけでは不十分で、安全・安心を確保すると同時に、子どもの成長発達を支援することが求められる。より専門性ある職員の配置すること、児童館機能を持たせた事業として今後の事業展を検討すべきである。

以上の意見を述べ、本補正予算に賛成する。